

新開発の
測定技術

製品品質を安定化、生産ラインの効率化に!!

膜厚測定機

Mak Master

新規開発された機器・測定技術による新しい特徴

- 膜厚測定のインライン化が可能
- 近赤外線の利用
- 非接触で測定
- ~mmレベルの膜厚測定が可能。
- チャネリングにより多点(1台8点)測定が可能
- 世界最速の分光器により高速ラインに対応可能
(高速安定性・定量測定も可能)



多層プリフォーム、多層PETボトル、鋼板被膜、ゴム被膜などの測定に

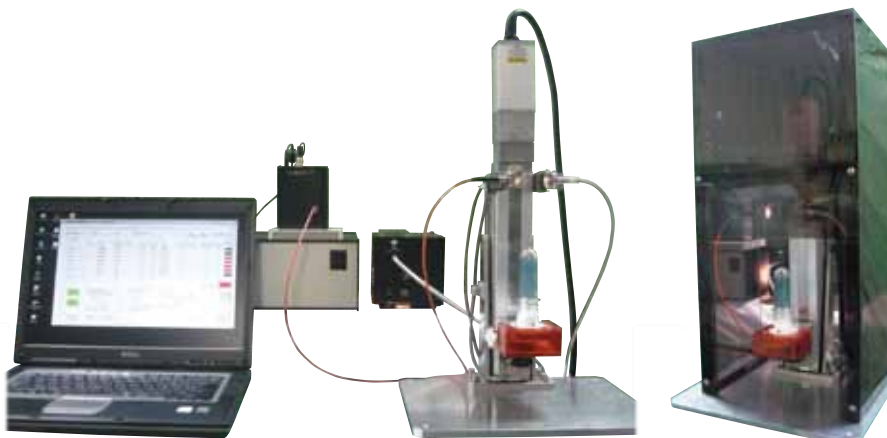
ご要望に対応したシステムを構築

詳細な測定条件を設定可能。

測定点は、直線方向だけでなく、回転方向にも設定可能。

さまざまな生産ライン、生産条件に合わせ最適な制御をご提案。

ご要望に対応した装置によりシステムをご提案。

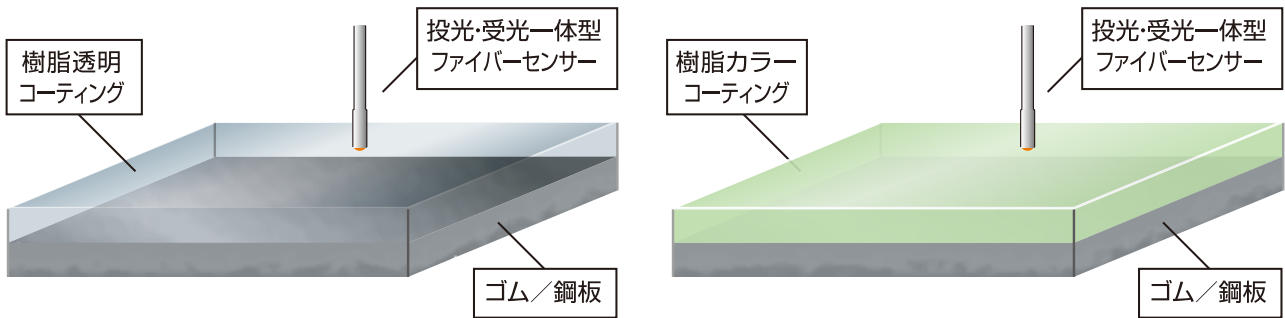


▲カバーをかけた状態



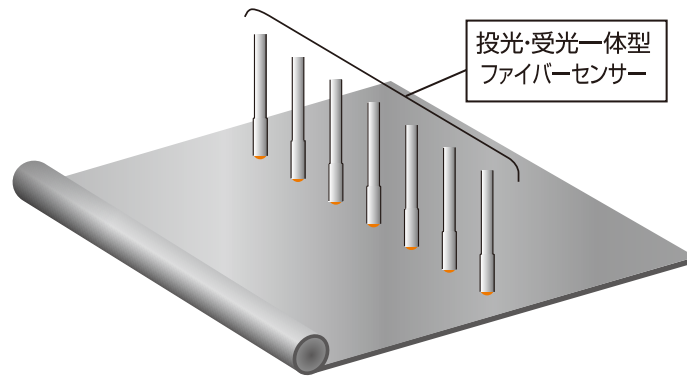
～各種シート上の被膜の厚さ測定～

近赤外線の反射・吸収を利用することにより、各種シート上の透明な樹脂コーティングはもちろん、カラー・コーティングの膜厚測定にも対応します。



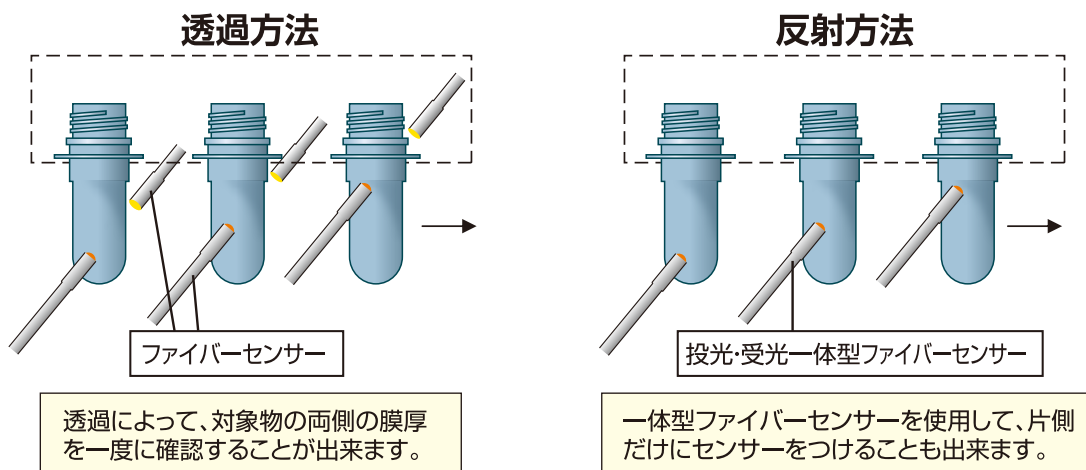
～応用編～

一つの分光機で多点測定可能なので、シート状の幅のある対象物にも対応します。



～オンラインでの多層プリフォームの層厚み測定～

世界最速の分光機とスイッチャーにより、オンラインでも多点測定が可能です。



まずは、サンプルをお送りいただき、
性能をご確認ください。